

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



どことなく日差しもやわらかく、春を感じられるようになりました。

この時季は、寒暖差が大きく、体調管理が大変ですが、皆様

には、お変わりなくお過ごしのことと思います。

長く続いたコロナも、ここに来てやっと感染威力が衰え、少しずつ元の生活に戻りつつあるのは嬉しいことですが、まだまだ油断は禁物。

マスク、うがい、手洗いなどは気を抜かず、もう少し頑張りましょう。

早咲きの梅の便りもちろほら聞こえてきます。

どうぞお元気でお過ごしください！



快適な生活をするために（5）

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

【バルコニー】

バルコニーは、常に風雨にさらされているため、汚れやすく、腐食を受けやすい所です。

こまめにホウキ・雑巾がけをして埃やゴミをためないようにしましょう。



- ① バルコニーには、なるべく物を置かないようにして下さい。風に飛ばされるなどして大変危険です。
- ② 金属たわし等の用具は、床の防水面にキズをつける恐れがあるので、使用しないで下さい。
- ③ バルコニーでは、底の柔らかいサンダルや靴を履くようにしましょう。
- ④ 水を大量に流したりすると、樋（とい）が溢れて屋内への水濡れの原因につながるので注意が必要です。
- ⑤ 塗料・シンナー・灯油などをこぼした時は、すぐに拭き取り、その後水拭きをして下さい。

床材が変質すると、雨漏りをおこすことがあります。

- ⑥ 塩化ビニール仕上げシートで防水した床は、熱に弱いので、花火をしたり、たばこの火を直接押しついたりしないで下さい。

バルコニーは、落下・転落事故の多い場所です。

手すりの傍で子供が遊んだりしないように、細心の注意が必要です。



踏み台になるようなものは、絶対に置かないで下さい。

また、鉢物、フラワーボックスや物置等の重量物を置かないで下さい。重さに耐えられなかったり、何かのはずみで落下することもあり、大変危険です。

次号に続く

「春隣（はるとなり）」

この時季は、1年を通じ最も寒さが厳しい頃ですが、「春隣」は、もう、すぐそこまで春が来ているという意味の冬の季語です。

寒さがこたえる真冬の時期にも、かすかな春の予兆に目を向けては、暖かな季節に思いを馳せます。

冬至を過ぎ、たとえ寒さが厳しい日にも、太陽の光はだんだんと強さを増し、日射しは一日に暈の目ひとつ分ほど伸びていきます。

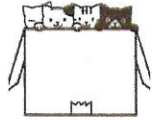
「春待つ」という季語が、まだ少し遠くにある春を待ちわびる意味合いに使われるのに対し、「春隣」は、もう、すぐそこに立春が来ているといったニュアンスが強まります。

少しずつ少しずつ近づいてくるやわらかな春の日差しを肌で感じる事ができ、こころが弾みますね。

寒暖を何度も繰り返す日々の中で、暖かい春をこころ待ちするという季節へのまなざしが感じられる言葉です。



本当に、ごめんね



皆さんは、何かペットを飼っていますか？

犬、猫、小鳥、それとも・・・

いずれも愛らしいのですが、別れは辛いもの。

今回は、友人の子供時代の思い出をお伝えします。

私が小学生の時のことです。

学校の裏門の隅っこに、小さな黒猫の赤ちゃんが捨てられていました。



産まれて間もないようで、両目は膿でくっついていて、まだ何も見えていない様子。

どうしても無視できなくて家に連れて帰ったが、案の定、両親から飼っては駄目と言われてしまった。近所に、野良猫に餌をあげているらしい家があるので、そこに置いて来なさいと言われ、泣く泣くその近くにそっと置いてきました。

数日経って、たまたまその近くを通りかかった時、ミャーミャーという子猫の声が聞こえたので、もしや？と思ったら、やはりあの時の黒猫だった。

でも、ガリガリに痩せ、体中に蚤がついていて・・・それを見たら、もうどうしても放っておけなくて、連れて帰ったのです。

両親には、何度も何度も頭を下げ、自分がすべて責任をもって世話をするからと頼み込み、やっと飼うことを許してもらいました。

体をきれいに洗って、ミルクを飲ませ、湯たんぽを入れてあげて、と子供ながらに思いついたことをいろいろしてあげたのだけれど、1週間も経たないうちに死んでしまったのです。

後から思うと不思議なのですが、死んだ日の前夜、いつもなら、枕元に置いてある箱の中で寝ている子猫が、なぜか初めて私の布団の中に潜り込んできたのです。

でも、私はあまりにも猫が小さいので潰してしまいそうで心配だったし、もしまだ蚤がいたら嫌だなと思い、箱に戻したのです。

その翌朝、気が付くと子猫は箱の中で冷たくなっていました。

もしかしたら、寒かったのかな？

あの夜、一緒に寝てあげればよかったのかな？

最初からもっと両親に頼んで、飼ってあげられたらよかったのかな・・・？

今だったら助けてあげられたかもしれないが、子供だったから何の知識もなく、病院にも連れて行ってあげられなかったね。



まだ本当に小さい子猫だったのに。

もしかしたら、私のせいで死んじゃったのかも？いろいろ悔いが残ります。

助けてあげられなくて、本当にごめんね。



家族同様に暮らすペット達との別れは本当に辛いですね。でも楽しい思い出もいっぱい残ります。 ありがとうございます！

「編集後記」

♪♪ 春よ来い 早く来い・・・♪♪

三寒四温を繰り返しながら、春がだんだん近づいてきます。

暖かな日射しの中、小鳥が囀り、さまざまな草花が芽吹き、花開き、生命の輝きを感じますね。

又、春は別れと出会いの時でもあります。

こころ弾むような素敵な出会いがあると嬉しいです。

体調を整えて、暖かい春を待ちましょう。

今月もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子